



【もう一つのOB会「ときめき会」について】

この1月15日(金)をもって、発展的に解散した「ときめき会」を報告しておきます。

かつて、“大学”には、「シニアボランティア養成講座」があり、1年:10日間、カリキュラムでは、介護実習、ボランティア体験〔数か所の施設に分かれて2日間実習〕のほか、施設見学をする講座があった。

平成21年、教養講座を修了した者が、受講資格を持っていますが、その人達を中心に26名在籍し、修了と同時に、25人がOB会「ときめき会」を立ち上げ、交流の場を持った。

ほぼ毎年、夏場の「納涼会」、暮れの「忘年会」を、輪番制で開き、親睦を深めることとなった。

まことに不思議な親睦会である？講座で机を並べたのは、わずか4日間、あとは、カリキュラムの通り 介護実習〔2F実習室〕、ボランティア体験や施設見学では、館外にあるので、受講者同志の名前すら 認識がおぼつかない、コミュニケーションを取れずにおり、特殊環境と想われるからに他ならない。

さらに、講座の主旨に副い学んだのが、「赤十字:救急法基礎講習」

〔H21年12月希望者〕、会場:日赤会館に足を運んで講習を受け、「認定証」を得たのも、会あつての活動が行われた。

これまで続いた要因、魅力を考えたとき、教養講座と違ったメンバー即ち少数派ながら年代が数年にわたり、ある意味 情報交換の場となった側面がある。

また、講座の主旨からすれば、人間的に柔軟性をもち“傾聴”を心掛けるほどであるから、話弾んだのかも知れないが、真相は謎。

「シニアボランティア養成講座」で、前にも後にもOB会が組織され、活動した話は聞いたことが無く、特記すべき点である。

今回、「ときめき会」は、個々に退会する方法もあるが、会全体の“先行き”を憂いるとき、全員で「卒業」の道を選ぶこととなった。

今後は、有志が発生の音頭を取り、年一回程度、適宜の方法で集う、との合意にいたり、幕を閉じた。

2016年〔平成28年〕1月25日

ときめき会“H21年:シニアボランティア養成講座修了者のOB会
五十嵐 卓夫〔前:会長〕

〔カリキュラム〕

No.	講座日	講座内容
1	5月15日	説明会:概論
2	6月29日	障害者の理解
3	7月7日	基礎
4	7月14日	介護実習
5	7月21日	介護実習
6	7月27日	介護実習
7	8月17日	ボランティア体験
8	8月24日	ボランティア体験
9	9月3日	あり方
10	10月19日	ワークショップ

〔活動報告〕

年	月	活動内容
21	12	救急法基礎:赤十字
	12	忘年会
22	7	納涼会
	12	忘年会
23	7	納涼会
	12	忘年会
24	7	納涼会
	12	忘年会
25	8	納涼会
	12	忘年会
26	8	納涼会
	12	忘年会
27	7	納涼会
28	1	新年会